

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：健康栄養学部 名前：畦岡 悦子 作成日：2024年1月15日

1. 教育の責任

* 学修活動を通じて、身近な集団に対する公衆栄養活動の実践と実施を学内授業で得た知識との関連した理解を達成目標とする。「臨地校外実習(公衆栄養)」(3年次 1単位)

* 学修活動を通じて、地域集団における人々の健康栄養状態や社会・経済環境を把握し、公衆栄養活動のマネジメントについての必要な知識の修得を達成目標とする。「公衆栄養学実習」(秋学期2年 1単位)

* 学修活動を通じて、日常業務におけるデータ処理やグラフの基本事項を学び、栄養分野での利用に関する例題を通じて統計データを処理・分析し、推定・検定等の手法を習得することを達成目標とする。「栄養学・食品学を学ぶための統計学」(春学期2年選択 2単位)

* 学修活動を通じて、保健機能食品やサプリメントについて専門的観点から個々人人のインフォームドチョイスを達成するための必要な情報と、適切なアドバイスを行うための資格理解を達成目標とする。(秋学期3年選択 2単位)

2. 教育の理念

* 豊かな人間性と高い倫理観と社会的責任を有し、実践的な管理栄養士として必要な資質を保持するとともに、管理栄養士国家試験に挑戦できるレベルの総合的な能力を修得し、問題意識をもって課題を把握し、多様な人と協働し解決に導く姿勢を伝えていきたい。

3. 教育の方法

教育の目的と目標

公衆栄養の活動の理解を深めるために、必要な日本の栄養関連法規とその政策に関連させながら実習課題を課している。公衆栄養活動の課題及び実践を理解し、将来の行政栄養士としての資質の向上を図り、豊かな人間形成を導くことを目的として実践力を積み上げる。また、幅広い知識を身に付ける事で管理栄養士国家試験へ対応し、社会の様々な課題に対して貢献できる資質を身に付ける。

教育実践

・国の保健統計から日本の栄養課題の現状分析や、関連法規の内容とその政策を理解し、保健所・保健福祉センター勤務での管理栄養士の業務の実際に対して、臨地校外実習Ⅱを通して体験し、現場業務を理解し実践力を育む。
授業以外の食育に関わるボランティア活動への有志を募り、実践的な行動力を育む。

4. 教育の成果

コロナ禍の影響が、まだまだ感じられるが段階的に以前の授業状況に戻つつある。積極的に食育に関わるボランティア活動者の継続参加など公衆栄養に関連した社会的な活動へ興味がある学生が増加している。他、選択科目の関連資格にチャレンジする学生も継続的に散見され、合格者を輩出できている。

5. 改善への努力と今後の目標

学生とのコミュニケーションの時間を増やし、理解度の確認が出来るよう行いたい。演習ではグループ演習を取り入れて、個人のアイデアだけでなく協調性を組み込んでいるが、その回数を増やす工夫を行ってきたい。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：健康栄養学部 名前：畦岡 悦子 作成日：2024年1月15日

【添付資料】

